

平成 30 年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：平成 30 年 6 月 10 日（日）午前 10 時～11 時 30 分

場 所：地域福祉センターいわま 1 階集会室

出席者：5 名

《フリートーク（意見交換）》

- 1 権限移譲について
- 2 派遣職員の費用について
- 3 生きがい事業の食事作りボランティアについて
- 4 北根東一区の雨水対策について
- 5 市野谷地区の雨水対策について
- 6 デマンドタクシーについて
- 7 危険な空家について
- 8 岩間駅周辺について
- 9 愛宕山の側溝について
- 10 女性の活躍について

1 権限移譲について

【意見等】

笠間市は、茨城県からの権限移譲の割合が県内で 1 番である。地方行財政改革 歳出改革の指数が全国 1741 自治体中 13 番とある。権限移譲とは何か、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

【回答】

権限移譲とは、合併で市町村が大きくなったことに伴い、今まで県の権限で対応していたものを市町村におろし、スピード感をもった住民サービスの提供を行おうというものです。権限を受けるか受けないかは各市町村の判断なので、あまり権限移譲を受けない市町村もあります。

しかし、住民サービスを行う一番身近な行政機関は市町村です。笠間市は、合併後の一つの目的として、権限を持ってしっかりとした住民サービスを行っていくという考えのもと、原則受けられる権限は受けて行く方向性を持っています。

ただ、権限を受けるには責任が伴います。人も知識も必要になります。笠間市では、職員を県に派遣し、学ばせ、知識を習得してその職員が市に復帰した時に権限移譲を受けるようにしています。今後は、林地開発許可の権限を受ける予定があり、現在職員を県へ派遣しています。

行政改革の 13 番目というのは、公的機関による調査結果で、権限をどのくらい受けたか、職員をどのくらい減らしたか、歳出をどのくらいカットしたかなど、トータル的にどのくらい行政改革を進めてきたかという評価が 13 番目とい

うことです。

2 派遣職員の費用について

【意見等】

職員を派遣する場合、費用は市が負担しているのか。それとも派遣先が負担しているのか。

【回答】

派遣にも色々なケースがあるので、内容によってどの組織が負担するかが変わります。たとえば、相互交流の場合は、お互いに費用を負担します。研修が目的で県などに派遣する場合は、市で費用を負担します。

3 生きがい事業の食事作りボランティアについて

【意見等】

生きがい事業の食事作りボランティアに携わっている。平成30年3月からは、新しくオープンした地域交流センターいわま（あたご）に移ってサービスがスタートし、これからここでやっていくのだなと思った。ところが、4月からは、地域福祉センターいわまに移ると言われ、地域福祉センターいわまでサービスを行っている。しかし、調理場が狭いので、地域交流センターいわま（あたご）で調理したものを毎回車で運んでいる。どうして場所を移すことになってしまったのか。

【回答】

この事業については、社会福祉協議会で行っているものです。

地域交流センターいわま（あたご）を設計する際、当時生きがい事業を行っていた福祉センターいわまが老朽化したという事情があって、地域交流センターいわま（あたご）に同じ様な機能を持たせることで担当者と何度も調整をした経緯があります。

対象者が増えてスペースが狭くなったことや、食事をするところからトイレが遠いなどの理由で場所を移したということです。

4 北根東一区の雨水対策について

【意見等】

国道355号沿いの北根東一区で雨水が溜まってしまいう箇所(延べ100m)があり、側溝を整備してほしい旨の区長要望書を出したが、優先順位があるからと言われた。周辺住民に一応説明をしたのだが、もう少し見通しなどが分かるとより説明しやすい。費用対効果など基準があるのか。

【回答】

区長要望は出来るだけ迅速に対応して要望実現のために動くというのが基本

です。側溝や歩道の要望が多く、数的には年間 100 件を超えるくらいの要望を受けて対応をしています。側溝の場合、流末の問題があり、流す先がなく広範囲に渡って直さなければならない時は、なかなか整備できないことがあります。こういった事情で整備が先に進まないのか、調べてみます。

5 市野谷地区の雨水対策について

【意見等】

市野谷地区も同様に生活道路に雨水が溜まってしまい、建設課に来てもらった。歩けなくなる状況なので、道路を広げて側溝をつけてもらえないか。

【回答】

市野谷地区は、排水が最大の課題で、今年から調査に入っています。全体的に排水をどうしていくのか、部分的に改修しても流末がないので、応急的措置は市で行うが、抜本的なものは時間がかかりますが進めています。

6 デマンドタクシーについて

【意見等】

デマンドタクシーを利用して、便利でありがたいと思っているが、利用登録者数や費用対効果を考えると、市の負担も大きくなっていると思う。デマンドタクシー運行にはどのくらい費用がかかっているのか。ドアからドアで移動できることや、待ち時間も 5 分～10 分と少ないことなど、利便性の良さをアピールできれば利用率も良くなるのではないか。

【回答】

デマンドタクシーは、年間の運行経費が約 8,000 万円、収入が約 2,000 万円なので、費用対効果で考えると採算は合いません。ですが、高齢者の足を考えると重要な事業であると考えています。

現在のデマンドタクシーは、乗り換えがネックになっているので、今年度、乗り換えなしで友部駅周辺などに移動できる試験運行を実施する予定です。やり方を変えても、経費については、膨らませずに実施できるようにしたいと思っています。

7 危険な空家について

【意見等】

市野谷地区に空家が倒れかかっている。行政のほうで強制的に取り壊せるという話を聞いたが、取り壊せるものなのか。

【回答】

適正に管理されていない空家は、市内に 220 件ほどあり、約半分は解決しましたが、まだ半分は残っている状態です。国も法律改正を進めてきましたが、

取り壊す場合は、事務手続きが相当大変で、持ち主から取り壊し費用を徴収できる保証也没有ありません。

笠間地区で 1 件、近隣住民が危険にさらされている状態ということで、取り壊しを進めています。本当は、持ち主が対応してくれるのが一番です。なので、基本的には持ち主に何らかの対応をするよう繰り返し投げかけて改善できるようお願いをしています。担当課で物件を把握していると思うので一度状況を確認します。

8 岩間駅周辺について

【意見等】

岩間駅の近くにコンビニや薬局ができれば便利だと思うが、できる予定はあるか。また、駅周辺に交番が移転するという話を以前聞いたが、今後の予定はどうなっているか。

【回答】

国道 355 号沿いの交番の移転については、5 年ほど前から要望していて、今の交番が老朽化していることもあり、間もなく移転すると聞いています。市の方では駅周辺ということでお願いをしていますが、東口側になるか西口側になるかはまだ決まっていません。

駅周辺のお店については、岩間駅東大通り線と国道 355 号バイパスとの交差点の所にドラッグストアができるという計画はありましたが、現在は話が進んでいないようです。

また、高齢者が多くなって、買い物に行くのに不便だということで、移動販売を実験的に行っています。岩間地区では第 1 東宝ランドで週 1 回移動販売を生活協同組合が実施しています。

9 愛宕山の側溝について

【意見等】

愛宕山に登る道路の側溝に落ち葉がたまっていて、大雨が降った時に、オーバーフローして道路に水が流れてきてしまうのではないかと心配している。歩道の管理や木の剪定は良くしているようなので、側溝の清掃も一緒にしてもらえると良いと思う。

【回答】

愛宕山のハイキングは大きな観光資源で、多くの方に楽しんでいただけているところです。現在の管理の仕方はどのようにしているか、調べてみないと分かりませんが、落ち葉も含めて側溝の管理もするようにします。

10 女性の活躍について

【意見等】

最近は男女共同参画と言われているが、現在市議会議員は22名中2名である。出来れば4名ぐらいはいたほうが良い。市職員も、部長級の女性が2名おり、活躍されているが、女性が課長や部長になるんだという環境づくりを行い、女性の活躍を推進して女性の活躍がナンバー1の市を目指してほしい。市長のリーダーシップに期待したい。

【回答】

個人的な考えとしては、女性か男性かではなく、能力があるかどうかなのだと思います。現状として、50歳以上の男女の割合は男性が8割、女性が2割なので、自然と女性の部長・課長は少ないです。ですが、今の30歳以下だと男女の割合は5割ずつくらいだと思うので、女性の部長や課長も増えてくると思います。これまで女性は窓口の仕事が多かったですが、これからは農政や土木系など色々な分野の経験が必要になってくると思います。